

岐阜新聞真学塾

出題 蟹雪ゼミナール



文系科目を指導しています。社会はまだ暗記するのではなく楽しむ覚えましょう！

問題【社会】

世界の国名について、次の問題に答えなさい。

- (1)イタリアの探検家、アメリゴ・ヴェスپッチが由来となった国はどこか。
- (2)インダス川が由来となった国はどこか。
- (3)中世ヨーロッパの時代に存在したフランク王国が由来となった国はどこか。
- (4)スペイン語で赤道という意味の国はどこか。
- (5)ポルトガル語で小エビという意味の国はどこか。

豆知識 雑学コラム

意外と単純!? 国名の由来

今回は世界の国の名前がテーマです。皆さんは国名の由来って何だろう？と考えたことはありますか？まず我が国、日本の名前の由来は、日本列島が中国大陆から見て東の果て、つまり「日の本（ひのもと）」に位置することからきているという説があります。ではほかの国はどうでしょうか？今回は皆さんが良く知っている国やちょっとマニアック(?)な国を用意してみました。

まず(1)はアメリカの響きで何となくわかったと思います。彼は最初にアメリカ大陸を発見した人と言われていますが、実は彼よりも先にアメリカに到達した人がいます。そう、コロンブスです。しかし彼が実際に到達したのは現在の西インド諸島でアメリカ本土ではありませんでした。ちなみにコロンブスの名前が由来のコロンビアという国があります。

(2)もインダスの響きでピンときたのではないでしょうか。インダス川と言えば、歴史の最初の方で勉強するインダス文明と一緒に出てきますね。また、日本でよく見かける「印度」の文字を最初にあてたのは、西遊記でおなじみの玄奘三蔵（げんじょうさんぞう）と言われています。

(3)もわかりやすいですね。昔この地にゲルマン系民族のフランク族という民族があり、フランク王国を築きました。それがいつしかフランスと呼ばれるようになったそうです。そんなフランスですが、民族はゲルマン系ですが、言語であるフランス語はラテン系からきていました。

(4)はテストの問題でも出てきます。赤道の名の通りエクアドルは赤道直下にある国です。しかし標高がかなり高い所に位置しているので高山気候に属しており、年間の平均気温が13~14度とかなり過ごしやすい気候です。

最後の(5)は個人的にちょっと面白かったので選んでみました(笑)。ポルトガル語で小エビをcamarão（カマラウン）と言うそうで、1470年にポルトガル人が初めてカメリーンの地に訪れたとき、入り江に小エビが群生しているのに驚いてその名が付けられたのだとか…。ちなみにカメリーンと言えばエビ…ではなくコーヒー豆の栽培が盛んです。

ほかにもカナダ=村、オランダ=低い土地、セネガル=島というように、単純な理由で付けられた国名って意外と多いです。皆さんも自分の興味がある国の名前の由来を調べてみてはどうでしょうか？面白い発見があるかもしれませんよ!!

【解答】

(1)ペルー (2)トルコ (3)カナダ (4)エクアドル (5)ポルトガル